

行政評価

**【使命1】陶芸に親しむ機会を提供する。**

**【評価できる点】**

利用者へのアンケートの結果について、年間を通した満足度が96%に達し、基礎型講座では満足度100%の結果となるなど、非常に高い水準の評価を受けています。利用者のニーズと企画内容が一致しており、講師の指導などについても利用者に沿った内容になっており、陶芸に親しむ機会を提供しているものとして評価します。また、子どもオープンスタジオの開催を通して陶芸の普及、次世代育成および施設の認知度拡大に寄与したことを評価します。

**【より一層の取組を期待する点】**

一部の講座、教室で利用者数が目標を下回っています。特に自由作陶教室は実績値が目標値よりも低いまま推移しており、利用者の高齢化も課題となっています。体験型講座や基礎型講座などの若年層の利用者と自由作陶教室を結び付けていくことについて、引き続き課題として捉えて方法を検討してください。

**【使命2】市民の主体的な作陶活動を支援する。**

**【評価できる点】**

中断されていた招待作家講座を開催し、目標を上回る参加者を迎えたことを評価します。その他の専門技能習得講座も目標を大きく上回っており、ニーズに沿った運営が行われていることが伺えます。貸室事業においてはアンケート調査と分析を行い、要望の高い道具貸し出しを再開するなど、フィードバックを利用者満足度の向上や利用拡大の施策に結び付けていることを評価します。また、講師やスタッフへの高い満足度が、多くの方の継続利用につながっている点も評価します。

**【より一層の取組を期待する点】**

利用者の需要に参加枠が追い付かず、施設にとっての機会損失を招いている点については、これまで行ってきた講座における参加者の傾向などを分析し、参加者が見込めるものの講座数や定員を増加させるなど、より利用者ニーズに応えられるよう検討を進めてください。貸室利用者についても高齢化が昨年に引き続いての課題となっているので、基礎型講座などの参加者をつなげていけるような取組が行われることを期待します。

**【使命3】陶芸を媒介としたネットワーク構築を推進する。**

**【評価できる点】**

3年目となった三溪園共催企画は、陶芸祭とともに近隣施設・地域との連携として馴染み深いものとして根付いてきていることが伺えます。団体教室通常プランにおいても前年を大きく上回る申込数と人数を達成し、市民や関係者からの陶芸についての質問・疑問に常時対応を受け付けるなど、陶芸を媒介としたネットワーク構築の推進が着実に進められていることを評価します。

**【より一層の取組を期待する点】**

団体教室オーダープランや指導者研修講座の利用者の低迷が前年度からの課題となっています。広報の強化や参加者の意見のフィードバックなどを通して、引き続き利用者増への取組を進めてください。

**【使命4】持続可能性を高める施設運営を行う。**

**【評価できる点】**

施設内設備の定期的なメンテナンスや早期修繕を行うことにより、快適な施設維持や経費削減が図られ、施設運営の持続可能性を高める努力をしていることが認められます。

**【より一層の取組を期待する点】**

職員の転倒事故は、施設の管理瑕疵とまではいえませんが、施設利用者は中高年層が多いことから、施設安全管理において注意すべき点が多くあることも事実です。引き続き無事故を目指すとともに、災害対策も行き、施設の安全・快適な維持管理に努めてください。

## 横浜市陶芸センター 令和6年度指定管理業務・行政評価シート

総括

### 【評価できる点】

利用者満足度の高い多様な講座を開催することで、あらゆる市民に対して陶芸に親しむ機会を提供し、市民の作陶技術の向上や陶芸の普及に寄与したことを評価します。作陶展での人気投票の開催や招待作家講座といった、中断が続いていた企画が再開されたことで利用者の意欲向上や交流発展がいつそう促されました。加えて、利用者アンケートを通じた講座の見直しや、道具の貸し出しの再開など、利用者ニーズを捉え、生かすことができています。また、粘土・釉薬の再生や給水管工事の実施に伴う施設環境の向上を通して施設の持続可能性を高める運営が進められたことが伺えます。

### 【より一層の取組を期待する点】

利用者の高齢化・固定化が継続する課題となっています。若年層の利用者および新規利用者を増やし、継続的な利用に結びつける施策を引き続き検討するとともに、誰もが安全に利用できる施設環境の維持に努めてください。